TOYOINKSC

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名　東洋インキSCホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4634　URL　http://schd.toyoinkgroup.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 北川　克己
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当　(氏名) 青山　裕也　TEL 03-3272-5731

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	123,418	0.3	8,031	9.1	7,933	10.2	3,951	11.8
24年3月期第2四半期	123,072	0.8	7,361	△26.7	7,196	△27.4	3,533	△40.3

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　1,339百万円　(△47.2%)　24年3月期第2四半期　2,534百万円　(77.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13.24	―
24年3月期第2四半期	11.84	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	284,599	146,327	50.1
24年3月期	283,144	146,913	50.6

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　142,464百万円　24年3月期　143,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
25年3月期	―	6.00			
25年3月期(予想)			―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	3.9	16,000	17.2	16,000	19.0	8,000	10.5	26.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	303,108,724 株	24年3月期	303,108,724 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	4,722,672 株	24年3月期	4,718,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	298,388,669 株	24年3月期2Q	298,394,768 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。
2. 決算補足説明資料は平成24年11月12日(月)に当社ホームページに掲載いたします。
3. 当社は以下のとおり投資家向けの説明会を開催いたします。この説明会で使用する決算説明会資料につきましては、決算説明会終了後に当社ホームページにて掲載する予定です。
・平成24年11月22日(木) 機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における経済状況は、欧州財政危機の先行き不安感が高まり、景気を牽引してきた中国やインドなどの新興国も伸び悩むなど、世界的に景気の減速感が広がってきました。さらに国内では、円高の進行や対中関係の悪化などもあり、景気回復に足踏みがみられてきています。

厳しい事業環境ではありましたが、当企業グループは高機能製品や環境対応製品を中心とした拡販、原材料の置き換えや生産プロセス効率化などのコストダウン、さらには成長地域を中心としたグローバルSCM体制の拡充を強力に進めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は1,234億18百万円（前年同期比0.3%増）と増収になりましたうえ、営業利益は80億31百万円（前年同期比9.1%増）、経常利益は79億33百万円（前年同期比10.2%増）、四半期純利益は39億51百万円（前年同期比11.8%増）と、それぞれ増益になりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 印刷・情報関連事業

オフセットインキは、国内では、デジタル化に伴う構造的不況に加え、景気回復の遅れによる需要の伸び悩みが続きましたが、大震災直後の広告自粛の影響を受けた前年同期に比べると、商業や新聞印刷の需要が回復したうえ、高感度UVインキなどの高機能製品や、オフ輪インキの拡販が進みました。一方、海外では、これまで伸長著しかった中国や東南アジアで景気が減速、売上が伸び悩みましたうえ、価格競争の激化や人件費の上昇などにより利益も圧迫されました。

グラフィックアーツ関連機器及び材料は、国内オフセット印刷市場の設備投資需要の冷え込みが続き、低調な結果に終わりました。

これらの結果、当事業全体の売上高は366億58百万円（前年同期比1.5%減）と減収になりましたが、営業利益はコストダウンを進めた結果、12億47百万円（前年同期比99.4%増）と増益になりました。

② パッケージ関連事業

グラビアインキは、国内では出版用の減少傾向が続きましたうえ、主力の包装用も全般的な消費の低調により伸び悩み、震災後の品不足対策の先行需要が発生した前年同期の水準までには至りませんでした。一方、海外では、中国や東南アジアでの包装用の環境対応インキの拡販が進みましたうえ、北米での建装材用も好調に推移しました。

また、グラビア印刷用シリンダー製版事業は、包装デザインの変更需要が伸びず、低調が続きました。

これらの結果、当事業全体の売上高は280億５百万円（前年同期比0.4%減）と微減収になりましたが、営業利益は10億25百万円（前年同期比5.6%増）と増益になりました。

③ ポリマー・塗加工関連事業

缶用塗料（フィニッシェス）は、国内では減少傾向が続いた一方、東南アジアや中国、韓国では食品缶を中心に堅調に推移しました。また樹脂は、復興需要により国内の建築関連用が堅調でした。

接着剤は、包装用が低調に推移しましたうえ、太陽電池用も伸び悩みました。また粘着剤は、自動車関連が回復したものの、家電向けのフィルムラベル用は伸び悩みが続きました。一方、塗工材料は、スマートフォン用電磁波シールドフィルムを始めとするエレクトロニクス関連、広告サイン用とも好調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は260億８百万円（前年同期比2.8%減）と減収になりましたが、営業利益は19億55百万円（前年同期比24.3%増）と増益になりました。

④ 色材・機能材関連事業

汎用顔料は、国内、海外とも、自動車関連は回復してきたものの、印刷インキ用の伸び悩みが続きました。

プラスチック用着色剤は、国内では飲料等の容器用が堅調に推移したうえ、太陽電池用の拡販も進みました。また、海外では事務機器用や自動車関連が好調に推移しましたが、引き続く原材料価格の上昇が、営業利益を圧迫しました。

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、タブレット端末やスマートフォン用の中小型パネル向けが堅調なうえ、韓国や中国への拡販を進めましたものの、テレビ需要の世界的な低迷が続きましたため、国内や台湾での販売が落ち込みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は331億24百万円（前年同期比5.6%増）と増収になりましたものの、営業利益は32億94百万円（前年同期比1.0%減）と減益に終わりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

総資産の四半期末残高は2,845億99百万円で、期首残高より14億55百万円増加しました。負債の四半期末残高は1,382億72百万円で、期首残高より20億41百万円増加しました。純資産の四半期末残高は1,463億27百万円で５億86百万円減少しました。

国内の生産及び研究開発拠点の再整備や、海外における生産拠点の拡充により、有形固定資産が増加し、株式相場の低迷を反映し、投資有価証券とその他有価証券評価差額金が減少しました。また、長期借入金の借換えを行ったことにより、長期借入金が増加し、短期借入金が減少しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の期末残高は期首残高より３億13百万円増加し、329億58百万円となりました。

営業活動により得られた資金は77億76百万円となりました。税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加や、法人税等の支払額による資金減少などがありました。

投資活動により使用した資金は80億66百万円となりました。有形固定資産や投資有価証券を取得したことに伴う支出などによるものです。

財務活動により得られた資金は５億32百万円となりました。長期借入金の借換えによる増加や、配当金の支払いに伴う支出などがありました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におきましては、期初の予想を若干上回る業績に推移しましたが、第３四半期以降は、世界的な景気減速や日中関係の悪化などにより、当企業グループを巡る需要は、予想以上に抑制されるものと見込まれます。それゆえ、平成25年３月期の通期業績予想につきましては、平成24年５月14日に発表した予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ51百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,457	32,545
受取手形及び売掛金	81,413	81,635
有価証券	815	1,137
商品及び製品	22,009	22,626
仕掛品	1,248	1,465
原材料及び貯蔵品	12,896	11,341
繰延税金資産	2,184	2,292
その他	3,253	3,755
貸倒引当金	△568	△544
流動資産合計	155,709	156,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	80,067	81,842
減価償却累計額	△49,774	△50,413
建物及び構築物（純額）	30,293	31,428
機械装置及び運搬具	125,980	127,986
減価償却累計額	△108,295	△109,812
機械装置及び運搬具（純額）	17,684	18,173
工具、器具及び備品	20,174	20,482
減価償却累計額	△17,732	△18,015
工具、器具及び備品（純額）	2,441	2,466
土地	26,805	27,728
リース資産	184	211
減価償却累計額	△83	△106
リース資産（純額）	101	105
建設仮勘定	3,424	3,340
有形固定資産合計	80,752	83,243
無形固定資産	895	834
投資その他の資産		
投資有価証券	30,476	27,721
繰延税金資産	3,882	4,499
その他	12,016	12,632
貸倒引当金	△587	△585
投資その他の資産合計	45,787	44,267
固定資産合計	127,435	128,344
資産合計	283,144	284,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,766	44,507
短期借入金	35,306	25,887
未払法人税等	4,522	2,973
その他	14,531	16,201
流動負債合計	99,127	89,569
固定負債		
長期借入金	31,491	43,489
繰延税金負債	2,104	1,901
退職給付引当金	1,458	1,326
環境対策引当金	337	332
資産除去債務	31	32
その他	1,678	1,621
固定負債合計	37,103	48,702
負債合計	136,230	138,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,920	32,920
利益剰余金	95,406	97,567
自己株式	△1,729	△1,730
株主資本合計	158,330	160,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,919	△6,116
為替換算調整勘定	△12,269	△11,909
その他の包括利益累計額合計	△15,189	△18,026
少数株主持分	3,772	3,863
純資産合計	146,913	146,327
負債純資産合計	283,144	284,599

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	123,072	123,418
売上原価	95,766	95,100
売上総利益	27,306	28,318
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,877	2,910
給料及び手当	4,829	4,863
賞与	1,213	1,197
福利厚生費	1,201	1,253
減価償却費	515	484
研究開発費	1,493	1,591
その他	7,814	7,986
販売費及び一般管理費合計	19,945	20,286
営業利益	7,361	8,031
営業外収益		
受取利息	45	59
受取配当金	297	318
持分法による投資利益	46	55
その他	319	355
営業外収益合計	708	789
営業外費用		
支払利息	473	482
為替差損	273	201
その他	126	203
営業外費用合計	873	887
経常利益	7,196	7,933
特別利益		
固定資産売却益	6	10
その他	－	1
特別利益合計	6	11
特別損失		
固定資産除売却損	127	173
投資有価証券評価損	6	436
事業撤退損	1,198	－
その他	34	59
特別損失合計	1,366	668
税金等調整前四半期純利益	5,836	7,276
法人税、住民税及び事業税	2,939	2,891
法人税等調整額	△802	280
法人税等合計	2,136	3,171
少数株主損益調整前四半期純利益	3,700	4,104
少数株主利益	167	153
四半期純利益	3,533	3,951

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,700	4,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,852	△3,199
為替換算調整勘定	672	413
持分法適用会社に対する持分相当額	15	20
その他の包括利益合計	△1,165	△2,765
四半期包括利益	2,534	1,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,308	1,114
少数株主に係る四半期包括利益	225	224

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,836	7,276
減価償却費	4,498	4,164
受取利息及び受取配当金	△343	△378
支払利息	473	482
持分法による投資損益（△は益）	△46	△55
有形固定資産売却損益（△は益）	△5	△5
有形固定資産除却損	82	122
投資有価証券評価損益（△は益）	6	436
事業撤退損失	1,198	－
売上債権の増減額（△は増加）	229	37
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,727	973
仕入債務の増減額（△は減少）	2,248	△448
その他	△94	△195
小計	10,356	12,409
利息及び配当金の受取額	369	381
利息の支払額	△472	△489
法人税等の支払額	△4,952	△4,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,301	7,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△163	△105
定期預金の払戻による収入	215	312
有形固定資産の取得による支出	△4,313	△5,567
有形固定資産の売却による収入	19	26
投資有価証券の取得による支出	△1,851	△2,806
投資有価証券の売却による収入	676	494
長期前払費用の取得による支出	△442	△207
差入保証金の差入による支出	△53	△242
差入保証金の回収による収入	26	94
その他	△9	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,895	△8,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	257	391
長期借入れによる収入	149	12,000
長期借入金の返済による支出	△4	△10,000
配当金の支払額	△1,790	△1,788
少数株主への配当金の支払額	△80	△45
その他	△19	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,487	532
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	70
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,958	313
現金及び現金同等物の期首残高	26,732	32,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,774	32,958

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	印刷・情報関連事業	パッケージ関連事業	ポリマー・塗加工関連事業	色材・機能材関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	37,135	27,611	26,018	30,043	120,809	2,263	123,072	－	123,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	98	508	734	1,322	2,664	771	3,435	(3,435)	－
計	37,234	28,120	26,752	31,366	123,473	3,034	126,508	(3,435)	123,072
セグメント利益	625	970	1,573	3,329	6,499	764	7,264	96	7,361

（注）１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役務提供等を含んでおります。
２ セグメント利益の調整額96百万円は、セグメント間取引消去等であります。
３ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	印刷・情報関連事業	パッケージ関連事業	ポリマー・塗加工関連事業	色材・機能材関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,529	27,671	25,305	31,798	121,306	2,112	123,418	－	123,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	128	333	703	1,325	2,490	749	3,240	(3,240)	－
計	36,658	28,005	26,008	33,124	123,796	2,862	126,659	(3,240)	123,418
セグメント利益	1,247	1,025	1,955	3,294	7,523	458	7,981	49	8,031

（注）１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役務提供等を含んでおります。
２ セグメント利益の調整額49百万円は、セグメント間取引消去等であります。
３ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。